

《参加者募集》

2019年9月～2019年12月開催(全4回)

第6期

実践的 リスクマネジメント コース

◆開催にあたって

本コースは、内部統制(リスクマネジメント・コンプライアンス)の業務にかかわる担当取締役・部長等の責任者、管理者、実務担当者を対象とし、リスクマネジメントおよびコンプライアンスの取り組みを、どうすれば実効性を高めていくことができるかという観点から、実践的かつ実務的な視点から詳細に解説いたします。コンプライアンス研修を繰り返して概念は理解できても実務に結び付けにくく抽象的になりがちなことには否めません。リスクマネジメントも、一定の取り組みをしても、形式的になっていたり、リスク表の作成自体が目的となってしまうなど、その実効性に疑義を感じることも少なくありません。現場のリスク意識を高め、経営にとって本当に重要なリスクを抽出し、対応できるように、リスクマネジメント活動を効果的なものとするためには、どうすべきか。

コンプライアンスやリスクマネジメントについて、抽象的な概念から、具体的かつ効果的な対応を図るためには、組織内部で可視化して、問題意識を共有していく枠組みが不可欠です。コンプライアンスリスクからアプローチすることで参加しやすくなながらも、社会的なリスクまで広げることで、法令に限定されない環境変化リスクにも適応していきます。そして、それらのリスクを可視化して組織内部で共有し、マネジメント(リスク管理)ができる体制を浸透させることです。

これまで様々な組織の不祥事や再発防止に取り組んできた経験豊富な講師が、具体的なケーススタディをもとに、内部統制構築にあたっての本質的な狙いや留意点を指摘します。特に、「組織風土の変革」をテーマに先端的な取り組みをしている事例をもとに、コンプライアンス意識の醸成とリスクマネジメントを融合させた取り組みについて紹介します。人材育成まで踏み込むことで、形式的な取り組みから実効性ある取り組みを組織に浸透させていく方法を解説します。

本講師は、この分野で最も人気の高い講師の一人であり、普段は駆け足な説明の機会しかないことも多いですが、じっくり話を聞きたいという方には最適なコースです。

そもそも何のために内部統制(コンプライアンス・リスクマネジメント)を構築しなければならないのか、起点から見つめ直し、自分の組織に合った内部統制をどのように構築するかを考えるきっかけとなり、実践で活かす効果的な体制整備を行うためのヒントを得ることができると思います。

なお、プログラム内容及び取扱うケーススタディは適宜変更され、連続で参加頂いている受講生の方々に応じて、各回の内容がずれる可能性がある点は御容赦ください。

◆開催日

第1回	： 2019年9月10日(火)	14:00～16:30
第2回	： 2019年10月9日(水)	14:00～16:30
第3回	： 2019年11月12日(火)	14:00～16:30
第4回	： 2019年12月5日(木)	14:00～16:30

◆会場

厚生会館ホテル (東京・麹町)

◆講師

大久保 和孝 氏 (公認会計士・公認不正検査士)

株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長
(前 EY 新日本有限責任監査法人 経営専務理事 ERM 本部長)



第1回 環境変化に適応したリスクマネジメントと不祥事を回避するために必要なこと

・9月10日(火) 14:00~16:30

1. 環境変化に適応したリスクマネジメントと不祥事を回避するために留意すべき視点

- (1) 企業を取巻く環境変化の分析と対応すべきリスク
- (2) リスクマネジメントは何のために行うのか
～組織のビジョンの実践とリスクマネジメント
～唯一の解決策のなき課題への対応力
- (3) 経営視点から見たリスクマネジメント体制の構築にむけたポイント

2. リスクマネジメントとコンプライアンスの関係について

- (1) 会社法上の内部統制とリスクマネジメント・コンプライアンス
～リスクマネジメントとコンプライアンスの関係をどう位置付けるか
- (2) リスクマネジメントを経営として取り込むための留意事項

3. 環境変化と経営管理上のリスクについて

- (1) 企業不祥事にみる経営取り巻くコンプライアンスリスク
- (2) コンプライアンス問題の本質的な理解と対応すべき課題
- (3) 経済社会の構造を踏まえたリスクとの向き合い方
- (4) リスクマネジメントを成功させるためのカギ

第2回 リスクマネジメントの本質～危機管理と内部統制

・10月9日(水) 14:00~16:30

1. 内部統制(会社法)が考えている制度的な理解

- (1) 内部統制制度の歴史的考察にみるリスクマネジメントの本質
- (2) 何故、内部統制構築が必要なのか～危機管理の視点から
- (3) 企業不祥事と内部統制との関係について

2. 不祥事組織のケーススタディにみる危機管理の在り方

- (1) ケーススタディを通して見るリスクの本質と対応
- (2) ケーススタディを通して見る危機管理への対応方法
- (3) 危機管理への対応を効果的にするための内部統制の構築

3. 組織風土と内部統制の構築

- (1) 組織風土とは何か
- (2) 不祥事を起こしやすい日本的組織風土の特徴
- (3) 行動規範をベースにした内部統制の構築と具体例

第3回 現場の意識変革をもたらす効果的なリスクマネジメントの推進

・11月12日(火) 14:00~16:30

1. 実践的なリスクマネジメントを成功させるポイント

- (1) センシティブィティの高い人材育成とリスクマネジメント
- (2) リスク感覚を現場に浸透させるために必要なこと

2. モチベーションリーダーシップと組織的センシティブィティの高揚

3. リスクマネジメント体制の具体的な構築にむけて

- (1) P-D-C-Aサイクル体制の構築上の留意点
- (2) リスクマネジメント体制の具体的な構築方法
- (3) リスクマネジメントをより効果的にしていくためには

4. リスクマネジメントの推進

- (1) 現場が抱えているリスクと向き合う
- (2) リスクの可視化と共有～手段としてのリスクマップの作成
- (3) 根本原因の探求と効果的な解決策を導くための徹底した対話

第4回 組織風土を変革させるコンプライアンスとリスクマネジメントの統合的取り組み

・12月5日(木) 14:00~16:30

1. リスクマネジメント委員会の設置と活動方法(役割)

2. 浸透させていくための施策について

- (1) リスク意識を高めていくための研修プログラム
- (2) 効果的なコンプライアンス推進のための戦略的施策の構築
- (3) 思考力を鍛えるための施策
- (4) コンプライアンス研修・リスクマネジメント活動の統合による効果的な浸透策
- (5) 研修・会議の推進における課題

3. リスクマネジメント意識を現場に浸透させるためには

- (1) リスクマネジメントを効果的にするための行動規範の作成方法
- (2) 社員の意識改革と行動規範の活用
- (3) リスクマネジメントを引っ張っていくリーダー人材の育成方法

4. 不祥事発覚時の対応方法についてのまとめ

5. 理念経営の実践と持続的成長にむけてリスクマネジメントが果たす役割

6. 質疑応答

◆講師プロフィール

大久保 和孝 氏 (公認会計士・公認不正検査士)

株式会社 大久保アソシエイツ 代表取締役社長

前 EY 新日本有限責任監査法人 経営専務理事 ERM 本部長 (～2019年6月)。セガサミーホールディングス株式会社監査役 (2019年6月～)、サンフロンティア不動産社外取締役 (2019年6月～)、多数の企業のコンプライアンス顧問に就任 (2019年6月～)、パロマ 第三者監査委員会委員、建設業における内部統制のあり方に関する研究会 (国土交通省)、日本能率協会 KAICA 大賞審査委員会審査員、(一)交渉学協会理事、厚生労働省 年金特別会計公共調達委員会 委員長、文部科学省 公的研究費の適正な管理・監査に関する有識者会議、経済産業省 情報セキュリティガバナンス研究会 WG、国土交通省 航空局コンプライアンスアドバイザー委員会、長野県 コンプライアンス推進参与、林務部改革推進委員会、教員の資質向上教育制度のあり方検討会議、鎌倉市 コンプライアンス推進参与、浜松市コンプライアンス推進担当官、横浜市 コンプライアンス顧問、日本年金機構における業務受託のあり方等に関する調査委員会、(独)量子科学技術研究開発機構 評価委員会、経済同友会 憲法問題委員会副委員長、行政改革委員会副委員長、JA 全農 改善計画検証委員会、中間貯蔵・環境安全事業株式会社 ガバナンス及びコンプライアンスに関する有識者委員会、不二家信頼回復会議対策委員、PTB (パチンコトラスティボード) 監視委員会、麗澤大学経済研究センター「倫理研究プロジェクト ECS2000」作成メンバー、(公)徳川ミュージアム・三徳庵・監事、(医)河北医療財団評議員、(一)大学 IR 総研 評議員、アフリカ起業支援コンソーシアム モニタリングボード、総務省 地域力創造アドバイザー、夕張市、京丹後市、釜石市 地域創生アドバイザー、日南市 特命大使 (政策)、(一)リアス観光創造プラットフォーム アドバイザー (気仙沼) 復興応援キリン絆プロジェクト、「東北復興農業トレーニングセンタープロジェクト」「地域創生トレーニングセンタープロジェクト」運営委員、社会イノベーター公志園実行委員、慶應義塾大学 福澤諭吉記念文明塾 アドバイザー、長野県農業大学校 客員教授、早稲田大学、京都大学、横浜国立大学等、複数の大学非常勤講師、特定非営利活動法人 アイ・エス・エル 運営幹事等を歴任

主な著作

- ・日経産業新聞連載「デジタル時代のリーダー論」①～⑩(2017年7月～9月)
- ・日刊工業新聞連載「実践的リスクマネジメント」(1)～(46)(2008年10月～2009年9月) その他共著多数

◆参加要領・申込書

参加料

《全日参加費》 **正会員** 118,800 円(本体価格 110,000 円)

一般 140,400 円(本体価格 130,000 円)

《一日参加費》 **正会員** 34,560 円(本体価格 32,000 円)

一般 37,800 円(本体価格 35,000 円)

お申込み・お問合せ

一般社団法人 企業研究会 担当：村野武彦

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 MFPR麹町ビル (旧 麹町 M-SQUARE) 2F

TEL : 090-6797-1982 (村野)、03-5215-3511 (代表) FAX : 03-5215-0951

E-mail : murano@bri.or.jp URL:https://www.bri.or.jp

- 法人会員企業は当会ウェブサイトでご確認いただけます。●お支払い方法は、参加者宛に請求書送付後、指定銀行口座にお振込み下さい。●通信費、資料代、飲食代の一切を含みます。●分割支払や次年度支払いもお気軽にご相談下さい。

※申込書にご記入頂きました個人情報は、本コースに関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

コード：190178 お申込み

実践的リスクマネジメントコース



検索

※DMの停止・登録情報変更は、①弊会ホームページ右下「変更フォーム」、または、②専用ダイヤル【03-5215-3512】にてご連絡ください。